

令和5年度 第2回名取市スポーツ推進審議会 会議録

○ 日時 令和5年8月29日(火) 午後2時00分～午後3時30分

○ 場所 仙台法務局名取出張所2階 名取市教育委員会 会議室4

○ 出席者数 出席委員7名 (福井真司委員、星忠一委員、佐藤克也委員、武田純子委員、
二階堂芳賞委員、桃井恵美子委員、庄司昇委員)

欠席委員3名 (高橋睦子委員、浅川輝彦委員、安部久美子委員)

事務局6名 (教育長 瀧澤信雄、教育部長 齋藤正光、文化・スポーツ課 課長 中島千鶴
子、課長補佐 浅見智彦、スポーツ振興係長 佐藤洋、主事 及川翔也)

計画策定業務受託者 ランドブレイン株式会社 主任 井芹 太郎

会議概要

1 開会

2 あいさつ

○ 瀧澤教育長

本日は大変暑い中、暑い中というのがいつまで続くのかとうんざりするほどなんですけれども、今週も30度を超える暑さが続くということで、学校も始まっておりますが熱中症対策について懸念をしているところであります。さて、今週末に名取市でスポーツの大きなイベントが行われます。皆様の机の上に、資料としてドリームベースボールのチラシを配布させていただいておりますが、プロ野球で活躍された選手が市民球場で子どもたちへの野球教室やドリームチームと名取市選抜チームとの親善試合が行われる予定です。今のところ整理券も2000枚以上配布しており、1000人以上の方がいらっしゃるのではないかとこのように思っております。整理券もあわせて配布させていただいておりますので、もしよろしければお越しください。

さて、本日の会議についてですが、主としてスポーツ推進計画について、皆様のご意見をいただきたいと考えております。今回、市民アンケートの結果がまとまり皆様に配布させていただいております。また、8月の6日と17日には、市民ワークショップを開催しております。1回目は一般市民の方を対象に、2回目は名取市スポーツ協会に加盟し、普段からスポーツに深く関わっていらっしゃる方々を対象に開催し、様々な意見を頂戴しました。本日は主としてアンケート調査の結果をもとに、今後のスポーツ推進計画にどのように反映させていくべきか、皆様から忌憚のないご意見を頂戴できればと思っておりますので、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○ 星会長

皆さんこんにちは。本当に暑い日々が続いております。昨日は農作業を行っていましたが、とんでもない状況です。稲は伸びてますし、草はぼうぼう生えてますで大変な状況でありました。昨日全国版のテレビ番組内で名取市が36.6度を記録し、全国3番目の暑さだということでありました。

農業を久しぶりにやっておりますが、今年は特に大変な状況であると感じております。

さて、本日の議題ですが、先日アンケート調査結果が事前に送られてきて中身を確認しましたが本市のスポーツ振興について、考えさせられることや考えなくてはいけないことがたくさんあると感じているところであります。本日はどのような意見が出るか大変楽しみにしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

3 会議署名委員の指名

慣例により輪番制としている。福井委員、庄司委員の2名を指名した。

◇ 会議公開の確認

名取市審議会等の会議の公開に関する要綱(以下、要綱)第2条により、公開の対象となる旨を告げる。要綱第4条により原則公開であること、会議の議事録については概要筆記とし、委員名は伏せた形で記載することを確認した。

4 議題

(1) 報告事項 ア「名取市民のスポーツ活動に関するアンケート」調査結果について

(2) 協議事項 ア 名取市スポーツ推進計画の構成(案)について

議事の経過の概要及び議決の結果

(1) 報告事項

ア「名取市民のスポーツ活動に関するアンケート」調査結果について

- ・事務局よりアンケート調査の概要について説明。
- ・計画策定業務受託者よりアンケート調査結果について説明。

〈質疑応答〉

委員：他の自治体と比較して当市の特徴はどのように捉えているか伺う。

また、アンケート回収状況はいかがか。

事務局：民間スポーツの利用が多い傾向にあります。スポーツをしたい気持ちがあるがしてない方の回答の多さが特徴となっています。また、国のスポーツ実施率が56%で70%にすることを目標としている中で名取市では約40%台ということでスポーツ実施率の低さがうかがえます。アンケート回収状況については、国レベルで実施或いは公表しているような統計情報と遜色ない優位性を担保できる数を集めることができていると捉えており、平均的な回収率であると考えられます。

委員：クロス集計結果をお願いしたい。

事務局：本日は集計作業中によりお示しできないが、今後提示させていただきます。

(2) 協議事項

ア 名取市スポーツ推進計画の構成(案)について

- ・事務局より構成案について説明し、原案のとおり承認された。

〈質疑応答〉

委員：石巻市の計画のように、健康状態のデータ等エビデンスを載せることで、スポーツ実施の動機付けにもつながるのではないかと。

事務局：掲載すべきデータについては、委員の意見を踏まえ検討させていただきます。

委員：スポーツの実施率を高めることが本施策の最終目的になるのか。

事務局：今後の検討事項ですが、本市が目指す姿がゴールになると考えております。それに合わせた指標を検討し、今後、ご審議いただければと考えています。

委員：仙台市では、スポーツ観戦環境としてどのような状況なのか。仙台にはプロスポーツチームが多くあることや、国際マラソンなどの大規模イベントが開催されているがボランティアの活動充実度との相関はあるのか。

事務局：仙台市のスポーツ観戦環境は全国的にみても優れていると考えます。また、委員がおっしゃる要因のとおり、仙台市のボランティアは優秀であると評価されています。

委員：WSの結果は審議会で公開されるのか。

事務局：委員の皆様にお示しする予定です。現在公開に向けた作業中であります。

〈その他スポーツに関する意見について〉

委員：中体連の大会が6月に行われており、県大会が7月末にある。全種目形式が変わる。これまで、各市町村、団体と個人の優勝者が県大会に進んでいたが、地区大会をはさむようになった。バスケットボールの新人戦で先行して行われていた方式が全種目足並みを揃えることになった。

委員：県大会の出場チームも少なくなり、大会として簡素化されるのではないかと。

委員：部活動の地域移行にも関わってくる内容である。来年度から実施され、市町村大会から間も空けず地区大会という運びになるようである。

委員：親子行事という形で開催された親子ヨガは家族のふれあい機会として好評だった。このような施策は今後も実施されたい。高齢者男性を地域に引っ張り出すのが大変という話もよく聞かれますが、高齢者男性はよく歩く。歩く環境づくりは施策としていかがかと。

委員：デイサービスをみても男性のコミュニティ参加率は低い。昔はゲートボールがあったが、ゲートボールはチーム競技で実施しにくい。名取市はグラウンドゴルフの人気があり、また認知症家族等の交流事業でもフレイル予防として体操を教えるというニーズもある。サロン等もあるが、コミュニティの参加にハードルがある方には、一人のできる運動機会の提供も有効だと考える。

委員：生き生きスポーツについては、今年は若干男性の参加が増えた気もするが、それでも女性の参加が圧倒的に多い。男性は個人的に自分のペースでできる運動が人気のようなので。ポッチャやモルックは個人でも団体でも盛り上がっていたので、気軽さを求めるのであれば、ニュースポーツの振興も有効だと思う。

委員：生き生きスポーツクラブでは体力テストも行っており、非常に好評となっている。

委員：民間のジムは多いが、市民体育館のジムは特に安価で、月額制ではないことが人気のようである。ただ、設備の充実（拡充や新調）を図ってくると、より利用が増えるのではないかと。PRについても検討すべきである。バスケットボールは特に人気が高いように感じる。

委員：骨子にあるように、幅広く施策を展開するしかないと思う。アンケートでは、歩く方が多いとのことだったが、伝承館から5km単位の標識があり、これを往復している方もいる。自転車利用者にはセンターがあるが、歩く文化はない。歩くことの振興をしてもいいのではないかと。スポーツの入り口として、子どもが遊べる公園が重要だと考える。名取市には大きな公園がない。子どもの時にスポーツをしてこなかった方が大人になってスポーツを実施する確率は低い。子どもに対する啓蒙を検討したい。

委員：子どもの転倒による怪我は多い。ドッジビーのように怪我をしない運動を考える必要もある。子どもの運動能力は落ちていると思う。

委員：スポーツのよさは人とのつながりができることでもあるはずである。個人スポーツが気軽なのは理解できる一方で、スポーツでつながることの取組みも必要ではないかと。本市には企業が多いが、企業のスポーツ施設はあるのか。

事務局：企業の施設を少年団へ開放しているところもあるようです。

委員：企業はお金や場所もある。企業にとっては地域貢献というメリットもある。企業対抗スポーツ大会の企画に一般市民も参加させるなどは考えられる。


委員：10/9にトータルスポーツ大会がある。昨年度は雨天だったが、天気がよければ十三塚で実施する。今年はモルックを大々的に取り上げている。

5 閉会

以上、会議の顛末を記録し、正当なることを証するため、ここに署名する。

令和5年 月 日

会議録署名委員

庄司昇 

会議録署名委員

福井真司 